

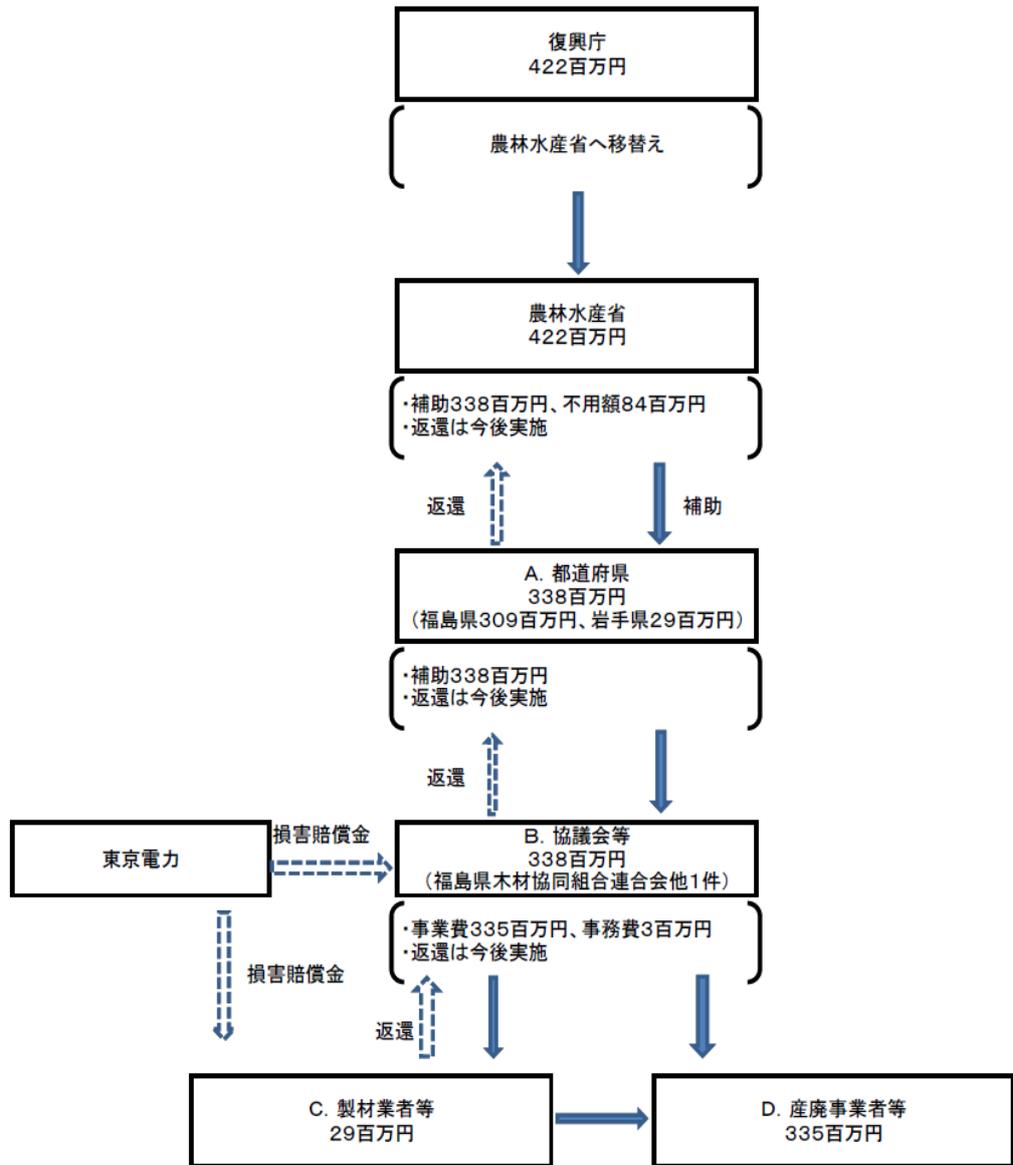
平成28年度行政事業レビューシート ( 復興庁 )

<b>事業名</b>	放射線物質被害林産物処理支援事業			<b>担当部局庁</b>	復興庁		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成25年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成29年度	<b>担当課室</b>	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 後藤 浩平		
<b>会計区分</b>	東日本大震災復興特別会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	福島復興再生基本方針				
<b>主要政策・施策</b>	地球温暖化対策			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災に伴う福島原発の事故により放射性物質が大気中に飛散し、樹皮(パーク)、ほだ木等の林産物から放射性物質が確認されている。これらの大部分は放射性物質を含んだ焼却灰の処理の問題により、福島県及びその近隣県で大量に滞留しており、事業活動に影響が生じているため、当該事業により対策を講じ、林産物の流通を推進させる。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	地域林産物の流通安定化を図るため、製材工場等に滞留する樹皮(パーク)、ほだ木等の放射性物質被害林産物の処理対策として、樹皮の圧縮機の設置、一時保管費用、廃棄物処理施設での焼却及び運搬費用等、製材工場等が負担する経費を一時的に支援する(定額)。 なお、当該事業は東京電力からの損害賠償が認められた経費を対象としており、東京電力から賠償金の支払いがあった後に国庫へ返還することとする。								
<b>実施方法</b>	補助								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	452	452	422	386	386		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	452	452	422	386	386		
	執行額	292	433	338					
執行率(%)	65%	96%	80%						
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	事業実施県の製材工場における丸太取扱量を平成29年度に平成23年度の145%にする。	事業実施県の製材工場における丸太取扱量の増加率	成果実績	万㎡	117	121	120	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	145
			達成度	%	81	83	83	-	-
<b>横断的な施策に係る成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
<b>地球温暖化対策</b> 関係	算出方法	副次的に温暖化対策としての効果を持つ施策であるため、算出は不可。							
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	製材工場等に滞留する樹皮(パーク)の処理量(福島県)	活動実績	t	94,000	123,000	123,300	-		
		当初見込み	t	60,000	108,000	108,000	102,000		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	執行額/活動費のうち当該事業による(パーク)処理量(千t)			計算式	千円	22	29	21	28
					執行額/処理量	292百万円/13千t	433百万円/15千t	338百万円/16千t	386百万円/14千t

		歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由							
平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)		林産物供給等振興地方公共団体事業費補助金	386	386								
		計	386	386								
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	4. 森林の有する多面的機能の発揮と林業・木材産業の持続的かつ健全な発展									
		施策	(3) 林産物の供給及び利用の確保									
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
			-	実績値	-	-	-	-	-	-		
			-	目標値	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	-											
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-	-	-	-	-			
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			-	成果実績	-	-	-	-	-	-		
-			目標値	-	-	-	-	-	-			
-		達成度	%	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-			
		-	目標値	-	-	-	-	-	-			
-	達成度	%	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	事業実施県の要望も強く、製材工場等の事業活動の安全化のため、優先度の高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	福島復興再生基本方針において、国は樹皮等の処分を推進することとしている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	同上	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業実施要望に基づき支出先を選定している。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	定額補助である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	産廃処理費用が下がったため、単価あたりのコストが減少した。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	事務費以外は全て産業廃棄物処理等への支出である。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	同上	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	執行率80%であるが、事業効率化のためコストが減少したため。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	製材工場等と産廃処理業者との間で単価交渉をしている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	丸太の取扱量は昨年に比べ横ばい。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	東京電力に対する損害賠償請求は、各製材工場等が個別に行っており、処理コスト、請求時期は区々であることから、効率的な事業実施には、県を経由した今の手段が最善である。	
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込み同等以上となっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	本事業は、製材工場等で発生する樹皮等のうち放射性物質に汚染され、燃料や堆肥等への利活用が困難となったものを処理する対策であり、補助対象経費は東京電力の損害賠償が認められたものに限定している。樹皮等の滞留は、製材工場等の事業活動を停滞させ、復興住宅等の建築資材としての木材製品等の安定的生産、供給に影響を及ぼすことから、製材工場等の事業活動の安定化のため、事業実施県の要望も強く、優先度の高い事業である。			
	改善の方向性	引き続き関係者と連携しながら、本事業により復興支援、林産物の流通を推進することとしたい。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	放射性物質被害林産物の処理対策による地域林産物の流通安定化を目的とした復興に資する必要性の高い事業である。引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	14
平成25年度	新25-037	平成26年度	163	平成27年度	0162

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.都道府県(福島県)			B.協議会等(福島県木材協同組合連合会)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	廃棄物処理費	福島県木材協同組合連合会へ廃棄物処理等費用として支出	306	廃棄物処理費	(株)A他3社へ廃棄物処理等費用として支出	306
	事務費	福島県木材協同組合連合会へ廃棄物処理等に係る事務費として支出	3	事務費	廃棄物処理等に係る事務費	3
	計		309	計		309
	C.製材業者等			D.産廃事業者等		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	廃棄物処理費	(株)D他3社へ廃棄物処理等費用として支出	29	廃棄物処理費	産廃処理費	128
	計		29	計		128
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 <input type="checkbox"/> チェック						

支出先上位10者リスト

A.都道府県

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県	7000020070009	福島県木材協同組合連合会へ廃棄物処理等費用として支出	309	-	-	--	
2	岩手県	4000020030007	岩手県チップ協同組合へ廃棄物処理等費用として支出	29	-	-	--	

B.協議会等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県木材協同組合連合会	9380005000445	(株)A他3社へ廃棄物処理等費用として支出	309	-	-	--	
2	岩手県チップ協同組合	3400005000316	G(株)へ廃棄物処理等費用として支出	29	-	-	--	

C.製材業者等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	G(株)	-	(株)D他3社へ廃棄物処理等費用として支出	29	-	-	--	

D.産廃事業者等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	A(株)	-	廃棄物処理費	128	-	-	--	
2	B(株)	-	堆肥化のためのパーク破碎処理費	120	-	-	--	
3	C(株)	-	廃棄物処理費	52	-	-	--	
4	D(株)	-	運搬費	12	-	-	--	
5	E(株)	-	廃棄物処理費	11	-	-	--	
6	(株)F	-	廃棄物処理費	5	-	-	--	
7	(有)H	-	廃棄物処理費	5	-	-	--	
8	(有)I	-	運搬費	2	-	-	--	